

訪日外国人の カルチャーギャップによる トラブルを減らそう

11 住み続けられる
まちづくりを



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



信州大学教育学部附属長野中学校
3年E組多羅尾あかり



カルチャーギャップとは？

→「文化の違いから起こる、モノの見方や考え方の違い」

ただでさえ日本の地域ごとに考え方・風習が異なるので、

外国人が私たちと異なる考え方や習慣を持っているのは当たり前！

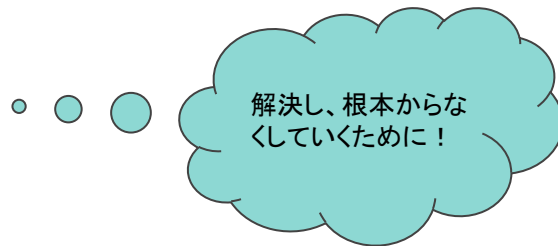
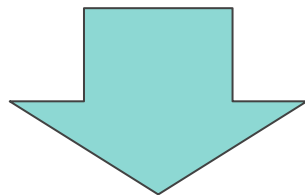
その違いを尊重することが大切

違う国で生まれた人同士が
カルチャーギャップを知っているか、知ってい
ないかの違いがあると、
トラブルに発展することもあります…。



カルチャーギャップによって起こる問題とは？

- ・ショックがストレスに発展し食欲不振や不眠になること
- ・日本人が「外国人はマナーが悪い」と思い、嫌な気持ちになること
- ・外国人に対するおかしい偏見が生まれてしまう
- ・↑が発展して、訪日外国人が孤立してしまうこと



相手の国の文化をあらかじめ知っておく、ということが大切！！



そのために...

日本でのマナーや

日本人の考え方を知ってもらい

環境を作るきっかけになる、

そんな情報を載せたパンフレットを作りたい！



提案の概要



取り組み:各所にパンフレットを置いてもらう

目的:カルチャーギャップによって起こる問題を減らすため

対象者:訪日外国人(観光客)、
市民(外国人、日本人どちらも)

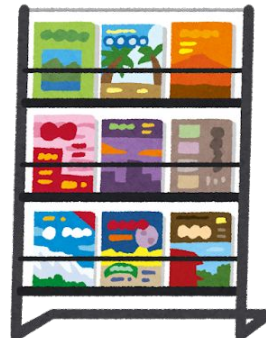
置き場所:カフェ、市役所

制作者:市内の中学生

協力してもらいたい人:カフェの人、市役所の人、市内の中学生

対象者ごとのパンフレット置き場所

- ・訪日外国人(観光客):観光地(善光寺など)付近のカフェ、空港 等
- ・在住者(日本人、外国人どちらも):市役所、回覧板、公民館 等
- ・在住者(学生):学校内



制作者について



制作者を市内の中学生にした理由

どこにでも置いてある商業目的のパンフレットは企業が作れば良いが、異文化の理解を深めたり、違う国の人同士が仲良くなることができるこのパンフレットは、この提案の対象者でもある中学生が作った方がよりこの問題に対する意識が高まって良いのではないかと考えたから。

⇒パンフレット作りを、異文化を理解する機会として、市内の中学校で制作する時間がほしい。

提案が実現すれば...



1: みんなが知って、理解する

2: 妥協できる

3: 訪日外国人は**楽しい観光**ができるし、それを迎える長野の人も**気持ちよく迎える事**ができる！



ご清聴ありがとうございました。